

OK 牧場の決闘 (Gunfight at the O.K. Corral)

観賞日 2022年9月12日 上映時間 122分

【概要】

制作 1957年 アメリカ

監督 ジョン・スタージェス

脚本 レオン・ユニス

音楽 ディミトリ・ティオムキン

撮影 チャールズ・ラング

出演 バート・ランカスター (ワイアット・アープ)、カーク・ダグラス (ドク・ホリデイ)
ロンダ・フレミング (ローラ・デンボー)、ジョー・バン・フリート (ケイト・フィッシャー)
ジョン・アイアランド (ジョニー・リンゴ)、デニス・ホッパー (ビリー・クラントン)



【あらすじ】

ベイリー兄弟がドク・ホリデイを殺しに OK 牧場にやって来る。酒場の女ケイトはそのことをドクに告げ一緒に逃げようと説得するがドクは聞き入れない。ドクを訪ねてダッジ・シティの保安官で西部中に勇名をはせているワイアット・アープが現れる。ドクは今でこそ無法者のギャングラーであるが、かつては紳士で腕の良い歯科医であった。そして、その昔ワイアットの歯の治療をしたこともあった。ワイアットはリンチに遭いかけていたドクを助け出す。すると、それに恩を感じたドクはワイアットの頼みを聞きワイアットの助手をつとめることになる。ダッジ・シティのダンス・パーティー。そこにならず者のシャンハイ味が入り、ドクがその騒ぎをおさめる。ワイアットは美人のギャングラー、ローラとの結婚を考え新天地で静かに暮らそうとしていた矢先、トゥームストーンで保安官をしている弟から SOS の報せを受け、ドクもワイアットに付き従う。クラントン兄弟とそれに雇われた大物助っ人。対するはワイアットを筆頭にしたアープ兄弟とドク。弟を殺されたワイアットはクラントン兄弟との対決を決意する。

西部開拓時代に起きた名高い OK 牧場の銃撃戦。二大スターが描く義理人情の西部劇。

【解説】

■ポイント

●史実・OK 牧場の決闘

- ・1881年10月、アリゾナ州トゥームストーンの OK コラルで起きた銃撃戦。
- ・保安官組 VS カウボーイズ

保安官組 (4人): アープ兄弟、ドク・ホリデイ

カウボーイズ (6人): クラントン兄弟、マクローリー兄弟他

●ワイアット・アープ (1848年~1929年)

- ・イリノイ州生まれ。1875年カンザス州の保安官事務所に勤務。1879年、トゥームストーンの保安官に就任。1881年に OK 牧場の決闘を起こす。
- ・晩年はロサンゼルスに定住、映画監督のジョン・フォードと親交を持ち、西部劇制作に影響を与えた。



■見どころ

●ワイアット・アープとドク・ホリデイの西部の男同士の友情

銃に命を懸けた男、違いはバッジの有無。東映やくざ映画の世界。

●西部劇の華・クライマックスの決闘シーン

●ディミトリ・ティオムキン作曲、フランキー・レインが唄うテーマ曲